



犯罪のない明るい社会へ！

社会を明るくする運動街頭キャンペーン

7月23日、相沼保育園で、非行や犯罪のない社会を目指す「社会を明るくする運動」の街頭キャンペーンが行われました。同運動は、罪を犯した人たちの更正へ理解を深めてもらおうと法務省が呼びかけ、全国各地で実施されています。この日は、八雲町保護司会熊石支部(長水憲一支部長)と相沼保育園の園児や保護者ら20名が、道行くドライバーにチラシやグッズを配りながら、「社会を明るくする運動にご協力ください」と呼びかけました。受け取ったドライバーは、園児たちに「暑い中、ご苦労様。ありがとう」と笑顔で答えていました。



漁師の仕事体験！

熊石地域マリンビジョン 推進協議会 漁業体験学習

夏休みを利用して子供たちに海に親しんでもらおうと、熊石地域マリンビジョン推進協議会(能登谷和正会長)主催の「漁業体験学習」が、7月30日に行われ、小学生10名が参加しました。漁業者から漁師の仕事について説明を受けた後、海洋深層水総合交流施設に会場を移し、ウニの塩水パックづくりに挑戦しました。参加した児童達は殻の中からウニの身が崩れないように取り出し、ワタをピンセットで取り除き、真剣な表情で作業していました。



夏休みの思い出がいっぱい！

第36回小牧市・八雲町 児童学習交流

8月3日～6日の4日間、八雲町内で第36回目となる小牧市・八雲町児童学習交流が行われました。この交流は、昭和57年に小牧市小牧山公開55周年記念事業の際、臨席していた尾張徳川家第19代当主徳川義親氏が小牧市と八雲町との交流を提言したことがきっかけとなり、昭和58年1月から児童交流が始まりました。小牧市24人、八雲町12人の児童が熊石鮎川海岸での磯遊びのほかアイスクリーム作りや町内協力家庭での体験など八雲ならではの体験を楽しみました。



第68回社会を明るくする運動

第37回小学校駅伝大会

7月21日、第68回社会を明るくする運動、第37回小学校駅伝競走大会(主催社会を明るくする運動八雲地区実行委員会、八雲陸上競技協会)が大新スポーツ公園内特設周回コースで開催されました。

大会は、1チーム4人編成で、1周約900Mのコースを4人で4周する駅伝方式で行われ、35チーム140人が出場しました。会場は、観客や待機する児童から応援の熱気で包まれ、選手はたすきを繋ぎゴールを目指し、一生懸命にコースを走りました。

